

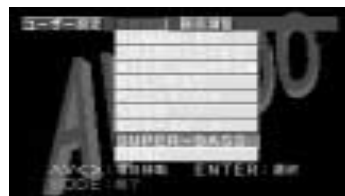
いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



① **<>** と **□** で項目を選択し
② **ENTER** を押す

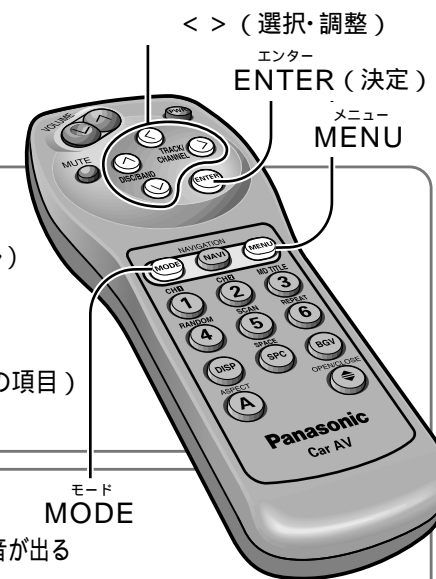
3 設定する



① **<>** と **□** で選択・調整し
② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約1分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります



リヤスピーカーを
サブウーファーとして活用する
(スーパーベースコントロール
サブウーファー)
初期設定：OFF

プリアウトの設定をする
(デジタル ダイナミック
ベース コントロール)
システムに合わせて、プリアウト端子の出力
(サブウーファー出力/フロントプリアウト)
を切り替えてご使用ください。
初期設定：プリアウト選択 ...SUB-W
ディレイ時間± 0 ms
カットオフ周波数 ..FLAT
音量± 0 dB

音質調整
から

SUPER-BASS
を選び

DDBC
を選び

OFF : リヤスピーカー出力は、通常のまま(ステレオ)
ON : リヤスピーカー出力が、サブウーファー用になる(モノラル)
「ON」にした場合は
音量レベルは、フェダー(音量バランス)で調整する。(P.36 ページ)
ディレイ時間とカットオフ周波数は、「DDBC」で調整する。(P.次の項目)
調整は、サブウーファー出力やリヤプリアウトにも連動します。

PRE-OUT (プリアウト設定)
FRONT : フロントプリアウト(ステレオ)... フロントスピーカーの音が出る
システムアップ用スピーカーを接続した場合
SUB-W : サブウーファー出力(モノラル)... サブウーファーの音が出る
サブウーファースピーカーを接続した場合

DDBC ディレイ時間
音の出るタイミングを調整する(0 ms : 出力のタイミングが同じ)
調整範囲 : - 10 ms ~ + 10 ms (1 ms ごと) 1 ms = 0.001 秒
「+」 : 他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
「-」 : 他のスピーカーよりも、出力が早くなる

DDBC カットオフ周波数
低音の厚みを調整する
FLAT : 高音域をカットしない
100 150 200 : 高音域をカットする
(出力する低域周波数の上限を選ぶ)

DDBC 音量
調整範囲 : - dB、- 10 dB ~ + 10 dB (2 dB ごと)
「+」 : 音量が大きくなる
「-」 : 音量が小さくなる
- dB : プリアウト端子に接続したアンプから音が出なくなる

「SUPER-BASS」と「DDBC」の設定は、
連動しています。

		SUPER-BASS	OFF	ON	OFF	ON
DDBC	プリアウト設定		FRONT		SUB-W	
	ディレイ時間	x				
	カットオフ周波数	x				
	音量レベル		x			

調整可 : 調整不可 : x

別売の外部アンプに内蔵された
調整機能を使用する場合は...
本機のディレイ時間を「0 ms」
カットオフ周波数を「FLAT」にしてください。